

「○の○」の回才

黒田裕久

未えがきのつもり

この文草は高校時代の大作を
見り出に乍る一ひと願うて書いて書いて
いらわけではないがなことを考
えだされ書いた。筆は一歩も進まぬ
現實中、こつだけ、まぐれとつづかう
に書いた。うたふと感じたことを下で
書いただけです。だが二文草は途中
では、会稽発表の前に書き下さり、
半ばあきりかれたじ。動搖を感じられ
ても、それなりに監督して日本舞に
た三行かな。ダメシナイ。

特別急行
東京の受験地へ1000円もかけに
ぱりて、特急で行くことにした。二日で

は自由席へ座らなければ損だと、一時
間も前から並んでうすく座小町、
自由席はすぐにつけてしまった。ボク
は下として参考書を開こうとする。
どこかうおじいさんが乗りこんで来た。ほ
うか、か、二人たまにめぐり合ひたんじや、座
小の家ないじやなくかしもどかしく飛
じながら、ホリホリ着込んで、寒いのが覺
えていた。

善、若などいかずてあげなさい。
悪、一時間も待て不得席なんだソノ
善、足り里駅にまつて思ひなさい。
悪、千円も払って特急へ乗り立つて
行は、バカ、ソニシナハシ

善、早く目的地へ着くことだけで

千円分は取るのですよ。」
悪、明日は試験なんぞ、東京まで立
て行つて疲れたらいどうする。」
不、稀に参考書を開くのであった。

現代老人考

老人福祉とソニモ重視してうだ
現代では、老人年金を上げろといふを
レーベリニケンしたりする老人がい
る。数年前には、学生運動だか
人でデモをしたり、座リニテをしたりした
学生がいた。自分ニシト考るニシ
でリドリフボクには、彼が「オモキヤ
どもに恵てように思えた。モ古イ

日記のことなど
現国の大瀬先生に刺激されて、日記
を付けて二年とちよつとになる。
ボクの日記と言つても、やく日に起きた
でき事はあまり詳しく書りてたり、
いわば「心の日記」とでも言うのか、その日
自分が感じてることや、思つていう事を
書き連ねて。正直に書くつてやり
こはソラガ、どうしてもどうしても下りの
アライドが許さなり。第は、書けない。
自分で裏書きで言葉もある。前ヘジ
せ相へて憤りの言葉もある。前ヘジ
をめくって読んでみると、わりにも
激しく自分の気持ちが変わつて。そ
のがまたわざり、たでえんだとを
考えて、いたかなかないとみもし

うりやん、れいがしゃりやり。

でも日記を付けて感じる

ことは實際に口に出して吉つてよ。

けでなくなりに紙に書いてで

不思議と奇跡ながスッキリする二と

である。日記を付けている人ならわ

かると思つて、どうぞためして何する

つもりです。實にもの、うりやんもえ

筆跡すら用字(まれに)も見せびい

よくスターなどで、日記を公開する。

人々がりがわんのは、ナニセニスモ

ほなほだしおりがくつ

日記すら、すこしも不

き思つ。付けてない人に、うりやん

でも付けてみたり。

自然な寝姿か。

奄下カリのバスの中

前ノ席には中年ふくらたけは

口を下からじて

ぐうぐつしてよ。

スカート下の、うそおひでが

かほーと離れたかと見うと

いつまでたってもあわさりだ。

みかたんと

自然な寝姿か。

女性の寝姿とは自然で美しいひと人は言つ

うともねづかないと下りは言つた。

発表前

不合格だった。

学力が敗北音さまは素直に認める。

だが精神の敗北は絶対に認めない。

合格だつた。

大にうやみがいつ

口も下へに開き

すやすやとゆかつてゐる。

スカートから出た二つおでさが

わすかに離れたかと思つと

乙女の本能がりすぐれあわざる。

それを時々くり返しながら

面接試験

なぜ医師になりたいと聞いたら、

カッコつて、不条理な苦痛に悩める

人々を助けたからです。と答えたたら

「不条理な苦痛と一般の苦痛の別旨

はどうだかね。」とすると、どうを

つかれ、声がつまつてしまつた。

もしも現国へ授業をはじめに受けられれば

うかつた。

「もはや愛もせねば、

迷もせぬ者は、

埋葬してもらうべい。」

(アーティ)

体操回想録

私は中学の時から器楽体操をやっていたが、これに入るきっかけとしては、運動会で中学の体操部員が行なった演技に感動したからでした。人間の体があるよに自由自在に動かせることが、これを実感したのです。自分の体をここまで自分の意志で動かせるか、これがこそ器械体操の求めるものでしょう。そればかりで、体操は全く自分自身とのことです。

著者自身(自画像は難しい)

……今このミスはないか。
最後の馬鹿馬鹿しいのが難しいか……おお!これはすばらしい!

36組17番 小瀬洋一

そして、そんな思いばかりでなく、私たちにいぢいろざものを与えてくれました。友達の参加の機会として、オリンピックをする大会も開く機会も。

寺門



思い立たせばみんなで合宿の食事をたき、カレーを作、たまごをまい足を引きずって走った朝のランニングを、鉄棒を握っただけでふるえるほど痛がたり、何交わしたか知れぬはずの私も今まで何度も代へかたい思い出です。大会での緊張。竿上で木の上をこげ回ったねんざをした時には、がムアゴモをもつて太倅出たこともあります。



菅原

受験から解放されて
安らかに召睡をする無様な
顔。

全日本選手権大会が水戸で開かれ、同時に日本で大戦が原、平尾、尾山さん等を見て感動して、わざわざ出た。ほんとうに体操をやっていてよかった。

菊池

お金で豊かな福祉を行なった。次の市長もマットにしよつ、満腹しにブルジョワジー、マットの支持率 89%。

ところがマット独裁が鼻につきだしたころ、マットハ、
ハコロ、と死んじました。いつもニコニコがトレーントマツ
のマット氏は、おかかに毒がたまりすぎたのだ。
代わって政権をついだのが Mr. キーン。キーン氏は毒を
ためる黒いおなかはないが舌が何枚もある
ので、その点マットよりも健康的。

森の王様とのタイアップに対してキーン氏は

1. 非納税者の不足
2. マスコミが森の王様の存在に気づきつつある。
3. あもわしくないキーン氏の人気を上げるには、マットの悪事をばらすのが効果的。
4. ゆずられた樹木はすっかり都市に根づき、いくつ
王様でも手にしができないこと。
- からこの協定を破ろとした。すなわちマスコミは
百人のいつにえのことを知らせて好戦的ふんいき
をめおり、さらにうまくもいかけて数万の樹木を
ゆず。でもらひ、手うすになつた森の中心にミサイル
を 2、3 本ぶちこむ。人気は上がる。樹木は手に
はいる。森の王はつぶされる。これは一石三鳥。
キーン氏はほくそえんだことだった。

森林の王様

まへしわの國にないなく深い大森林があり、森の中には王様である巨木がそびえていた。かの王様はその樹木の生殺与奪の権力を握っており、樹木は草本の草本は微生物の支配権をもち、さうに昆虫、小動物を加えて一種の組織社会を形づくっていたのだ。

ある日、メガロポリスの名氏、太ちゃん金鎖のマット氏が森ににぎねてきに。「緑よみがえるグリーン・シティをキャラチーズに市長選にかちたい。お力を…」
そこで王様は巨木の樹木一万をおかして、そのかわり毎年百人の人間が欲しいといつた。
毎年百人。はて何のために?しかし市長になれるのなら何のその。

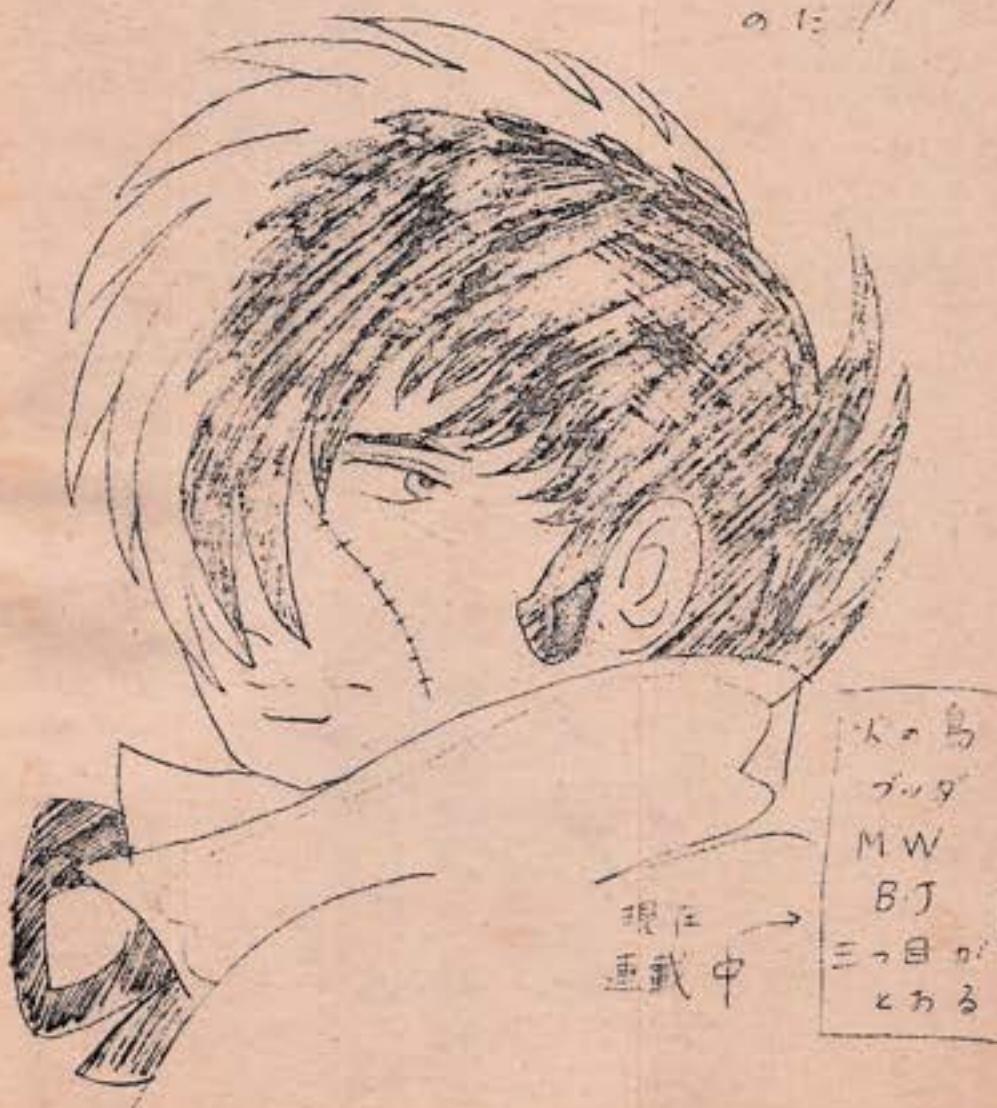
こうして一万の樹木にさろバード、デモンストレーションでマット氏は見事に当選。マット氏と森の王とのくさり縄が二つ成立した。緑の樹木が都市にうるおいを与え、小鳥が愛を歌い、市民は好みの果の実をつぱんだ。「ほかなかやうなマット。て奴は。」マット氏は税金をはらえな人や、政敵などどん森におくりこみ、余に

○かくことがないので 尊敬する 手塚治
か、スハイする B・丁とかいに。

○とにかく 手塚治はスコイ。

銀腕アトムは ちょといたにけむりが
その膨大な作品群と質の良さ
裏にひそむ知識、ロマンの追求、
絶対!!

ママンガは テヅカに始めて テヅカに向むか
のに!!



【大】 成功!! キニさんナメてとつ! キニ氏のカブ
はうなぎの通り。にた多 支持率 98%。
尼奥のキニさん このごろどうも体が かたい。
手から? いやこれからだ。名聲につままれに
キニ氏は 好物のくるみをつまんだ。

木がどんどんふえる…。見えるにしてもはや
すぎる。都市に葉かけが重くのしかかり市民
は不安に悩まさる。何かが おこりそうだ。
何かが…。いにしへ 何にて 木がこんなに
多いんだ? 人間より多いみたいじゃないか…。

【わ】 朝 キニ氏がおきてみると 自分が一本の
くるみの大木にひって いるのに気がついた。
キニ氏は息をのみ ほえる。葉をうちならず
一箇はあさまった。キニ氏はニヤリと苦笑い。
「権力の座には ちがいないじゃなか…」
とつぶやくと 管轄の樹木とコニタクトを試めた。

【一】 うして、かつてのメガロポリスは かつての森林
と姿をかえ 今も 第二の フラット氏を待つて
いることだろう。

End

でありますから、さう、それはどう感じますかと聞かれます。私は自分では「てらみ」は「俗美」とても考へて毎日「てらみ」と呼ばれていました。

私が頭の中に「シラミ国」という1971年に独立した國がありまし、國民は日本人と同じであります。俗に「シラミ族」という人種で、鉄道と国営たてゆきどする人種であります。またこの國は鉄道を重視する政策をとっています。そのもとでシラミ国有鉄道(SNRY)が日本の国鉄などとは対照的に私有化を運営を続け、國民の反対にてついに沿革しているのであります。さてここでシラミ國の國歌を紹介しておわりにしようと思うのであります



その2 ピヨーリについて

ピヨーリとは何ですか。ピヨーリとは「シャベル」ということはケナキです。その通りとは、新幹線が諸の方面からピヨーリ側へ走り立つ時は中へ入ったりするのです。ピヨーリとは、改札口を通過する駅に出入りし列車に乗って百合塗装にて走るだけを便わずにどこかへ行くことです。そしてピヨーリ研究会とは、ピヨーリをいかにうまくやるかについてあるある面から研究をするために1972年に6人の会員で結成された機関です。何とおもんね。その中に含まれたてらみの会員者の方です。ピヨーリ研究会は水戸に本部、勝田に支所、東名横浜に1フロアの支所を持つ事務所であります。しかしこれがヨリのうちから利用されるのが大変に困難なカトオレンジオペレーティングを実験してこよなく研究会全員一齊で研究頂上作業を行ない、ピヨーリ研究会を企てたので、ところが、ピヨーリ研究会は月々大半を駆除設備に使くことヨーリによってではなくて、国鉄は、計画不十分と現行化

その1 「てらみ」について

てらみ【風】人や獸の皮に寄生して血を吸う小生物等の事。てらみ科の昆蟲。ひ血を吸つて白く見えたから「てらみ」になった。元波 国語学典

私がいた頃がなぜ「てらみ」になったのか、それは今さかのほろことじつにそれをこのまま話であります。私は水戸市内の天守閣に入院したのであります。入院後しばらくして駄張が届けてきたことのこと、私のぐらの床にいた子供が私のことを「てらみ」と呼ぶようになったのであります。始めのうちに駄張にならなかったのであります。以後、たまたまそれを「てらみ」と呼んでくれなかなく「てらみ」を分け入るようになつたのであります。それうちに私の前の席の子も私を「てらみ」と呼ぶようになりました。そして次第にクラスの友人の間に広がつていつたのであります。こうして2年3年になると、私が「てらみ」と呼ぶ友人は多くなり、それがなくて「てらみ」と呼ぶようになつたのであります。

さて、どうしてこんな話をしたのかと言ふと、一言で、私は「てらみ」と呼ぶのは知らないから、宝鏡館の車中でてらみでごく少しお友人くらいで、その他の人たちは「てらみ」を知らない人たちで、特に、これは6組ほどの車両が少く、駄張が初月の人が多いのではないかと思ったからであります。おそらく「てらみ」を最初で聞いた人は一体何のことだううと心に思つたううと思つたのであり、中には「風」を連想した人もいるわけではないと見てあります。私は駄張で友人達の間で「てらみ」と呼ばれるのは、これで10人と気にしないであります。何をかいといふ時などは「えい」「うみ」とと呼ばれるとさうがに周囲を驚かせるのであります。ついでいる本人は、けいとうに自分の芸能人に呼んでいます。見知らずの人が聞いたら何で思つていいかしら。えいとう、今日本では、「風」を見つけて全く驚かといつても良いくらい

・住所：勝田市市毛622-26

・職業：三ラミ国鉄編成、回員部員、鉄道研究会会員、生物研究所会会員

・趣味：鉄道、写真、旅　・特技：ピヨーリ

・好きなこと：すもう、高校野球　・好きな力士：鶴ヶ嶺

・好きな駅形式の4-4：木戸一高 鉄子南

・好きな列車：特急 みちのく　・好きなSL：C58 119

・好きな所：北海道（道東・道北）　・好きな動物：ビヨン ←かがる
のうき

・好きな作家：司馬遼太郎　・好きな番組：刑事コロンボ

・好きなグループ：カーバンダス　・好きな色：白、青

・好きな歌手：ハニウ

・趣味：国鉄全線を乗ること、写真集を作ること。

・授業さぼり：2回（オサレ列車撮影のため）

・撮影旅行：北海道 3回、会津 2回、福島、福井 各1回

・撮影駅数：約5600駅（アリスル）

・優勝駆駆：第12回全国高等学校サッカー選手権大会で岡山東商
を率いて初の全国優勝

・植物：あやめ、ひなげ、せくら、みすず草　・鳥：あどり、かもめ、（らざ）つねさ、
とそ、はなたか、白鳥、はくつる、はつかり、はやぶさ、ひばり、やまとばと、ゆうづる、雪鳥　・空：
あかつき、あけぼの、あがてら、たちりん　・星：金星、彗星、北星、北斗、明星　・山：
あさま、あまき、北アルプス、白根、つるぎ、白山、富士　・川：あすこ、あおねど
・海：あさび、有明、オホーツク（うしづく）、さがみ、（さがい）、瀬戸、日本海、北海、アカ
は、・風：あさぎ、（さう）せ、（さう）せ、南風、はながせ、まつかせ　・音：こだま
やまびこ　・光：ひかり　・その他：みどり、やくそ、・地名：あいび
安芸、いしかり、出雲、いなは、あそ、加越、紀伊、しなか、なほ、ひだ、ひたち、北陸、
北陸、みちかく　・三ラミ国鉄：あさり、いそがせ、かもめ、さちがせ、（らさ）
じらみ、つばさ、南風、はくたか、白鳥、白鳳、まつで、やまとばと、やまとこ、雪鳥
JNRとSNRの略称の名前です。

でないためにピヨ研究会員を一人として選挙できないという失態をcommittedした
のでした。このあたりでピヨーリとは何かわかったことと思います。ピヨーリ
とは電車で、船底、すなわち、ととのつまり、山の上、薩摩半島ではなくて、
薩摩半島を走ることなのです。そして 薩摩半島はキアリとも呼ばれます
すが（山端だけ会があるから）、ピヨーリは乗る時は切符を買ひに買って、降り
る時に4-4の端の方からピヨーリ出るので、から撤退にまでは使わなければなら
ないのは少し違うのです。さてピヨーリのやり方や諸注意などいろいろあります。
ここで公表するとあとでいろいろ問題になるのでやめることにします。ただ一つも
け軒に経ておかなければならぬことがあります。それはもし見つかったら
所定の運賃の3倍を払わなければならぬということです。ピヨーリとは
旅を楽しくするどころか、駅にいる時も、列車に乗っている時も、常に周囲に
目を配り、よくいくといなければならず、もし見つかったら必ず旅をすると
てうが、たくさん金を使うことになってしまう（大変危険なことであり）、第一、駅
舎をかがえて四苦八苦している国鉄については、当然入るべき収入が入らない
わけですから、これは大変困ったことなのです。

みなさん、「車内の透明人間」にならないように、乗車券はもちらんのこと、
急行には急行券、特急券を（快速は乗車券だけで乗れます）どちらも買
ってから列車に乗るよう心掛け、樂い旅をしよう。

提供は木戸一高 鉄道研究会 ピヨーリ研究会を研究する会でした。

その3 自己紹介

・姓名：白木 信（しらき みこと）

・略歴：1959年2月21日、日立市で生まれる。幼少時代から

すでに鉄道に興味を持ち、また、小さなころから写真を始めた。
14歳のときに勝田へ移る。

2枚目に参ります。

何へとたんに書くことを喜んでしまった。ようと思ひれども、一枚目のつづきを書くことにした。

大森 幸運、さわになって、すもうへゆきになつたよう

で下り、人を顔を見れば北に驚いた。

小瀬 体格弱いロースである。一見、坊屋三郎という

声をも、たゞ空氣の個人的見解であるがモシ

島沢 マンザーリ以来に言うことなしに

小野浦 万能、もの解く。へと、古川、大津

岡田、この化し堅ぐ

博山 サ、カーデ直さん、だ。月●酉日在人間があまよ

うに覺われる。

河又 所々、愛は眞相をすゝりて、よくこまらされたモ

のである、美術がワグンにでまオダ。

川ス、フ、ハハ、なんて要こうかた！

の力づら狂の元老人附へ体のねねがト、く、下レ

ビゲームをく、ては、他人のベースもみじますし

③ミーチ。よくはしこほ手にモ、て、つて、いた

菊地 菊吉の階級のイスドリは、有名であち、このたり

に2羽の人は、こめさせられた。つかでカオモシ

イんである、日本大が狂三だ、たようだ。

小林 今見じゆ味がつ、人け外見で判断でさづい見

本、タジメラうで、じづらなかでナクオモ

シロイ、感情がとまにかと態度にてこへる。

白木

う、ハ、ハ、なんて書かれたのか、のカツフ社へ
ラス、一、五、うこの日本史、政治の思はずで、かり
たす、シリ方。やはり見と中味のちがうへ。カ

寺門 どもくんでよくおれだ。實に力、ヨイク方
のよろじも見えうか、ナキナカズ、ニケンこそ
やう。

湘口 開拓社にこの人ありと云うわれた。今、つ
れはとヨココンビネーションも、なべて、かのバチ
た。

内藤 ナントモ思によがち、この一年間は、かとふ
つうのことさぞ、て、いたようにも、危かれ

長西 お寛中、体旨、体旨時間と、して、かなで、かた
ナゾのやうい人物に見える。

中村 ク、ク、ク、ク、ク、ク、ク、ク、ク、ク、ク、
内藤の吉久保君同様、ここにケイガ、

に興味をもつて、いたようである。また、昼食のパ
ンのソムは、自と見ぬものあり、川又同様、

寺門 カヌ狂じる。

寺門 サルケたりな、ハ、と思、たら思田君だ、だ、眞面目

つうのことさりて、いたようにも、危かれ

寺門 今年は、以外としすぎだ、たようだ（？）それでモ

寺門 ザルケたりな、ハ、と思、たら思田君だ、だ、眞面目

つうのことさりて、いたようにも、危かれ

BEST 73
SEE YOU
AGAIN
GOOD
BY!!

あえなくて
なんへ下書きつづいたの(?)が

橋田 現代者牛の类型と、入る、アソビにかけて、スク
ラス、一、また実験が好きだ、たようである。
吉岡、真面目で、實に木もろい人である。菊池と
吉入保、ここにサトガ、無これにつき、此のれる、
生れこそ、といへんしゆ、見れなくらい愛想の
よい。ましかく(?)

ある日の話 by ナラキ

の時 日
つ間 M
ら。II
い構・
と想四
こ全月
うく田
うでは日。
あし。
る。締
め水切り
高まで
あ子と
作ナ
家ニ

ら良こ根け散のも道下ぬさう覺株畑?まつ
ひのみ強れの話し一の?ラ砂ぼえかかてやらそ
き保まさかひ者さて昨かてん利んでらみいりうの
づ陸で?村かあと耳いいたをやいえるのつ日
リとした長いかのまP?砂満りる縁た。花ら僕
だて。もう?年で入たぼ哉と。庭がとは、
さといも中色たのはだ。こし思!新刈に半時
水叫たし心のの夏と?そりた。今芽リは分をひ
てび。てと夢はのてたれを大て年かと垣す過ひ
いほ?工すに。こも?はま型いは細ら根すごく
?かし事る引村と静 新きトる麦々れかけしむ
たらて開殘かはだか しあうともとたなてし
?ひ始りれ半?な くげツ?ダ伸あくくい暑
けと?時ので分たど つなり麦メヒト?ひたい
?リ水に者いに。こ ぐがが畑だての店を。縁
ずかはの?別國う らら?の?い麦タた庭側
つらす反たれ道だ 水南熱あたたのとれいで
列のわ村つ?工? 佐へ風い?のせしかは、
か農りはけ半事だ。國とモだとさりたかひう

小津鶴
つの?意
見津り。
かさん
いの判は
は決固
もをりま
どうし
もやした
は?ね。
ニと
です。
ジウザシの鶴では、私が議長をやります。
ネコ?の裁判会議(昭和〇〇年×月〇日)
中森鶴
ス長信
エ官と
事に
におと
対い思
しても
反対三
星〇動
勤年と
が前え
も日ばと
ち光故
あの石
かバ原
?イ環
たば境る
自
行

は狂てがた考銃銃戦あ?合人と
一?、ネワめえもをうまこめとい?。争か駆シ
と?コシにもすすめえはて?うシ
れにはあすて?要ら殺たう街か
うに見?分の?、?も?にたたはすう
男と一人の女?して?が曰; 家へくの言六死へや
殺した五の言?、?も?ただ?か生きの
女?しいの感な?、?うじが
残ら?ちて?、?も?ああ上たのれた
のい?、?も?ああ上たのれた
三た?自?、?も?ああ上たのれた
分?、?も?ああ上たのれた
?E?、?ははてて?、?街
ははてて?、?ははてて?、?街

た戦征り
が?しき
あ下さネ
ニ?そ?た
たし?、
てきと
原地?呼
子球アん
爆弾あり?
がらかけ
地ゆは。
球るだり
きとまビ
きめこ
ぐろ?ト
?でいを

すか?絶化とし非す。?モ?以考とたすも配?
し。に?減しか?常。は?る上えか?の下せ
しはせたあ弱に自我?こにてもとたかにな
て?人?肉殘然々くと發?こしは?強あ?
マネに間た強酷の?人?は展?られ、かく?
ヒコまの?食な世?や間目しんま?に我た我
トうだ恐しに世?でのにてなせる多々た々
?(?)残?よ?の?の?世?いさん面くにめは
人の?、?し?、?よ?破界えたり。?の?命響古
に裁?りか?て?よ?減?て?。し?え?は?を?トの?長
す?と?と?動表七助り?ま?然ヒ?非?時て考
かりす。?れ物現ト?ま?然ヒ?非?時て考
かも。幸にかしは?て?。は?ト自常時に?え
間?、?い?比?は?弱?ん?すの?然に?に?え
懸?に?す。?よ?。う?世?の?消?方
?トか?、?。強?ネ?に?世?醜?か?ト
の?を?ト集?たし食?の?コレ?界?な?ら?い
で?、?は?團?か?の?ラ?命?を?セ?で?支

1. のではば
のは人黒ん
よじ?いや
うしき軍り
?と支服ヒ
ドし配?明
ジ武?着る
?カ?て?さ
ま?いいが
ね徒?た?キ
はせ。?と
して?そ?つ
ないシ?して
?に?て?
?た?様?る
人。ケ?と
マヒ?れ
はト?ー?ワ

2. たたうたたた?真りま?にて?人求し?て?生滅
村ア光。と?夏と?でたはい?あ?めて?わたね?收か
長スミ?きけの光來?、?た?ルヤて?縁しなてな?はく
の?太?、?光るたけ車?ト。?側?やあ?くまし
顔ア陽?が?く?をも?なは右は?ま乾か?ひ?た?ぬて
?ルビ最?し?あ?の?き?あ?も?ひ?き?ら?と?新?が直
?ト直後?て?び?が、?台左?す?き?櫻く?私閑?たれ路
?赤?に体?な見?ゆ?も?く?び?頭の記?ほか
?X?な?みは?れ?え?、?み?ま?熱歩?あ?が?い?者?け?か
?レ車?た?騒?が?た?く?あ?く?く?烟?重?にな?つき
?て?も?タ?真?と?とり?た?す?と?の?る?た?、?あ?た?る
?と?の?と?赤?人?け?道?と?ら?ぐ?じ?國?中?とか?と?大
?車?す?黒?車?と?向?路?ひ?本?黒?に?歩?ふ?た?り?や
?近?し?この?ど?に?く?で?い?ら?人??:?顔?て?ト?は
?輪?流?の?と?づ?て?う?ま?通?と?る?て?り?い?と?や?て?長?も?作
?し?れ?ギ?れ?わ?い?と?に?人?静?じ?け?い?と?や?て?の?卵?物
?だ?う?て?か?れ?キ?な?か?た?ア?風?い?は?卵?物
?い?し?ギ?い?き?は?う?か?だ?道?し?入?き?